

製品名: MRP-L10 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14108**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	29kDa

抗原情報

遺伝子名	MRPL10
別名	MRPL10; MRPL8; RPML8; 39S ribosomal protein L10; mitochondrial; L10mt; MRP-L10; 39S ribosomal protein L8, mitochondrial; L8mt; MRP-L8
遺伝子 ID	124995.0
SwissProt ID	Q7Z7H8
免疫原	抗血清はヒト MRPL10 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

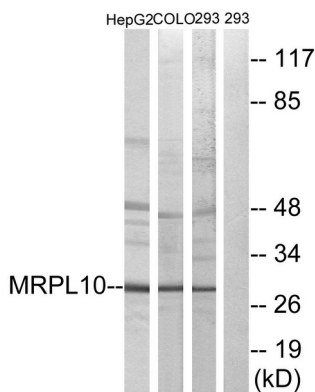
背景

哺乳類のミトコンドリアリボソームタンパク質は核遺伝子によってコードされており、ミトコンドリア内でのタンパク質合成を補助

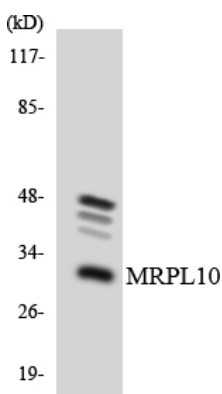
しています。ミトコンドリアリボソーム (ミトリボソーム) は、小さな 28S サブユニットと大きな 39S サブユニットで構成されています。ミトコンドリアリボソームのタンパク質と rRNA の比率は、原核生物リボソームの約 75%と推定されていますが、原核生物リボソームではこの比率が逆転しています。哺乳類のミトリボソームと原核生物リボソームのもう 1つの違いは、原核生物リボソームには 5S rRNA が含まれていることです。種によって、ミトリボソームを構成するタンパク質の配列は大きく異なり、場合によっては生化学的性質も異なるため、配列相同性による識別は容易ではありません。この遺伝子は 39S サブユニットタンパク質をコードしています。配列解析により、2つの異なるアイソフォームをコードする 3つの転写バリエーションが同定されました。この遺伝子に対応する偽遺伝子は、5 番染色体 q 上にあります。[RefSeq 提供、2010 年 11 月]類似性:リボソームタンパク質 L10P ファミリーに属します。、サブユニット:ミトコンドリアリボソーム大サブユニット (39S)の構成要素で、16S rRNA と約 50 種類の異なるタンパク質で構成されています。、

研究分野

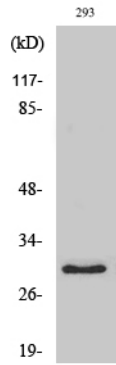
画像データ



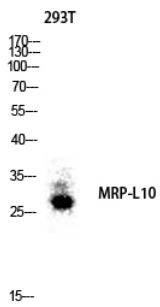
MRPL10 抗体を用いた 293 細胞、HepG2 細胞、および COLO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



MRPL10 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



MRP-L10 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



MRP-L10 抗体を用いた 293T 溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。